

全建発第5-028号
令和5年 5月12日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

令和5年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）の開催について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記実地研修会を別紙のとおり開催いたします。

本実地研修会では、ふくしま復興再生道路の一路線である小名浜道路の整備、福島県復興祈念公園と同園内の国営追悼・祈念施設の整備、東日本大震災・原子力災害伝承館及び震災遺構 浪江町立請戸小学校を視察することにより、大災害からの復旧・復興に対して各事業が果たす役割や、防災・減災に向けた教訓や貴重な体験について学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

全建発第5-029号
令和5年 5月12日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

令和5年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会では、建設技術講習会（10開催/年）と実地研修会（5コース/年）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の推進に向けた取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしています。また、実地研修会では、明石海峡大橋、大河津分水路改修事業など、一般に視察が困難な現場等を少数で視察することとしています。

これらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会では、ふくしま復興再生道路の一路線である小名浜道路の整備、福島県復興祈念公園と同園内の国営追悼・祈念施設の整備、東日本大震災・原子力災害伝承館及び震災遺構 浪江町立請戸小学校を視察することにより、大災害からの復旧・復興に対して各事業が果たす役割や、防災・減災に向けた教訓や貴重な体験について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

令和5年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状） ～ふくしま復興再生道路と3.11震災伝承への取組～ 概要

(1日目) 開場13:30	令和5年7月13日（木）【聴講】		(敬称略)
14:00 } 14:40	ふくしま復興再生道路 小名浜道路事業について	福島県いわき建設事務所 事業部小名浜道路課 課長	児 玉 博 史
14:50 } 15:30	福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設整備事業について	国土交通省東北地方整備局 東北国営公園事務所 所長	澤 田 大 介
15:40 } 16:20	震災対応の伝承と (一財)3.11伝承ロード推進機構について	(一財)3.11伝承ロード推進機構 業務執行理事	原 田 吉 信
17:30～19:00 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」＜希望者のみ 会費2,000円（予定）＞ (会場等詳細は調整中)			
(2日目) 集合（乗車）8:00～	7月14日（金）【現場研修】		
ホテルルートインいわき駅前（8:20）出発 → ふくしま復興再生道路 小名浜道路事業 → 昼食〔富岡町内〕 → 東日本大震災・原子力災害伝承館 → 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設整備事業 → 震災機構 浪江町立請戸小学校 → JR福島駅（16:40）着後解散 ※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。			

全建CPD（継続教育）制度認定プログラム 【聴講】2単位、【現場研修】3.5単位

聴講会場 いわき産業創造館 セミナー室
 福島県いわき市平字田町120番地 LATOV 6 F TEL:0246-21-7570

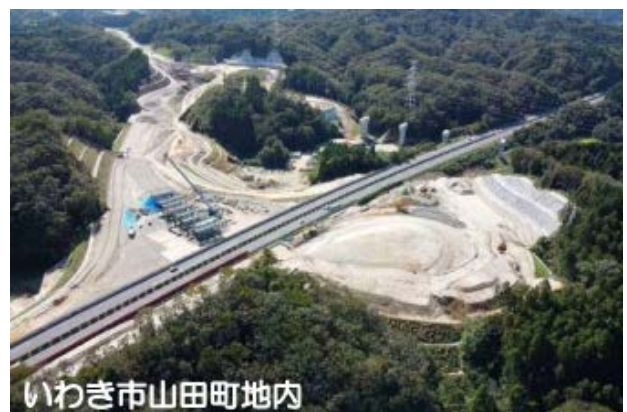
現場研修事業の概要

1. ふくしま復興再生道路 小名浜道路事業 …………… 福島県いわき市泉町～山田町
小名浜道路は、福島県が東日本大震災等からの復興・創生を支援するため、復興拠点へのアクセス道路として整備する「ふくしま復興再生道路」の1路線として整備が進められています。

周辺には、重要港湾小名浜港や小名浜臨海工業団地が立地し、小名浜港背後地においては、環境水族館や観光・物産施設といった交流拠点、さらには、震災復興土地区画整理事業などを活用し、商業サービス拠点を核とした再開発を行うなど、港と市街地が一体となった魅力あるまちづくりが行われています。

この小名浜港を中心とする地域と常磐自動車道を自動車専用道で結ぶことにより、物流・観光ネットワークの強化が期待されます。

また、防災面からも、東日本大震災時に緊急物資の受入港として大きな役割を果たした小名浜港と、緊急交通路として被災直後から救援活動や緊急輸送を支えた高速道路ネットワークを直結させることで、大規模災害時の円滑な緊急輸送を確保することが期待されています。



2. 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設整備事業 …………… 福島県双葉郡双葉町・浪江町

2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災により、福島県をはじめとする太平洋沿岸部を中心とした広域にわたり甚大な被害が生じました。この未曾有の大災害を受け、国と福島県が連携して、「生命（いのち）をいたみ、事実をつたえ、縁（よすが）をつなぎ、息吹よみがえる」を基本理念とする「福島県復興祈念公園」の整備が進められており、令和7年度に完成する予定です。

また、当公園の中には、犠牲者への追悼と鎮魂や震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志を発信するため、国が中核的な施設として「国営追悼・祈念施設」を設置することとしており、こちらも令和7年度の完成を目指して整備が進められています。



3. 「3.11伝承ロード」の取組みについて

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、東日本の太平洋沿岸500kmにも及ぶ広い範囲が甚大な被害を受けました。被災地ではそのような被害の実情や貴重な教訓を伝えていくための施設が多く整備されています。しかしながら、それらの震災伝承施設は、複数の県にまたがる広大なエリアに数多く点在し、これらの情報を集め限られた時間で巡ることは容易なことではありません。そのため、目的や時間に応じて効率的に施設を訪問できるように、伝承施設情報を分類整理して提供し、案内マップや標識を設置しネットワーク化することとしています。

このように、震災伝承施設をネットワーク化する「3.11伝承ロード」は、「震災伝承のプラットフォーム」であり、地域の防災力の向上と被災地の地域振興を目指すものです。

① 東日本大震災・原子力災害伝承館 福島県双葉郡双葉町
福島県では、東京電力福島第一原発事故に伴う原子力災害により、今も数万人が古里を離れての生活を余儀なくされ、風評被害への対応も終わりが見えません。

県内の犠牲者は4,000人を超え、このうち避難生活での体調変化や過労など間接的な原因で亡くなる「震災関連死」は2,000人以上に上り、福島、岩手、宮城の被災3県で突出して多い数となっています。

県民が経験した複合災害がいかに過酷であり、そして今もその影響が続いていることを物語っています。

東日本大震災・原子力災害伝承館では、展示や語り部、研修、調査・研究を通じて、未曾有の複合災害について福島で何が起き、どう向き合ってきたかを伝え、防災・減災に向けた教訓を国内外や未来へつないでいくこととしています。



② 震災遺構 浪江町立請戸小学校 福島県双葉郡浪江町

請戸小学校は、2011年3月11日未だかつて経験したことのない大地震・大津波とその後の原発事故に見舞われ大きな被害を受けましたが、全員が無事避難することができた奇跡の学校としても知られています。

倒壊を免れた校舎に刻まれた脅威と、全員避難することができた経験を伝えるため、2021年より震災遺構として一般公開しています。



令和5年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）
～ふくしま復興再生道路と3.11震災伝承への取組～ 募集について

① 日程：

令和5年7月13日（木）

【聴講】（開場13:30～）14:00～16:20 いわき産業創造館 セミナー室

福島県いわき市平字田町120番地 LATOV 6 F TEL:0246-21-7570

（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

令和5年7月14日（金）

【現場研修】8:20～16:40

（集合・受付）ホテルルートインいわき駅前 8:00集合 8:20出発

（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

- ふくしま復興再生道路 小名浜道路事業 → 昼食〔富岡町内〕
- 東日本大震災・原子力災害伝承館
- 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設整備事業
- 震災機構 浪江町立請戸小学校 → JR福島駅（16:40）着後解散

② 募集人数：40名（大型バス1台）

③ 旅行代金：一般（非会員）……………21,100円（税込）

（研修料）正会員・特別会員・賛助会員……………18,100円（＼）

一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

研修料は、1～2日目の費用です。斡旋宿舎の宿泊料は含みません。

現場研修時の昼食代（1,320円、税込）を含みます。なお、行程の都合上、全員の昼食を用意します。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

④ 申込方法：申込書に必要事項を記入し、メールにて西鉄旅行（株）にお申込み下さい。

申込者数が募集定員以内の場合、参加できる旨をご通知します。

申込者数が募集定員を超えた場合、（一社）全日本建設技術協会にて選考しその結果をご通知します。

選考の通知は、6月21日頃を予定しています。

旅行代金（研修料）の振込みは、選考結果の通知後にお願いします。

<個人情報の取り扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

⑤ 申込締切日：令和5年6月15日（木）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

⑥ 申込先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com

申込のお問合せ 全建担当デスク

TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328

⑦ 送金先：みずほ銀行 京橋支店 普通 1227472 ニシテツリョコウ（カ）

- ⑧ **変更・取消し**：申し込みの変更又は取消しが生じた場合、申込用紙に変更箇所がわかるように記入し、メールタイトルに「変更」又は「取消」と明記の上、⑥の申込先宛にメールで送付して下さい。なお、取消しの場合には、取消日に応じて下記の取消料が発生します。
 ※電話での変更・取消しは受付できません。

【取消料】

取 消 日	取 消 料
20日前～8日前	研修料の 20%
7日前～前々日	研修料の 30%
前日（7月12日）	研修料の 40%
当日（7月13日）	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

- ⑨ **添 乗 員**：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と西鉄旅行（株）添乗員が同行します。
- ⑩ **そ の 他**：研修料の領収書は、入金確認後、送付いたします。視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。
 参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
 事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
 詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。
- ⑪ **視 察 企 画**：（一社）全日本建設技術協会 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル
 視察のお問合せ 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640
 MAIL kensyu@zenken.com
- ⑫ **旅行企画実施**：西鉄旅行（株）東京団体支店 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス
 観光庁長官登録旅行業第579号 TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
 （一社）日本旅行協会正会員 MAIL zenken@nnr-g.com
 ※令和5年4月1日からメールアドレスが変更になりました。

聴講会場及び現場研修集合場所案内図



幹旋宿泊のご案内

- ① 宿 泊 幹 旋：宿泊希望者にはいわき市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。
なお、宿泊代金につきましては、西鉄旅行（株）にお支払いください。
- ② 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入しお申し込み下さい。
選考にもれた場合、宿泊申込みは自動的にキャンセルになります。
- ③ 申 込 先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com
申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
(営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝)
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。
- ④ 取り消しについて：

宿泊日の3日前～	宿泊日前日	宿泊当日 及び無連絡不泊
宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。

取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

⑤ 幹旋する宿舎名、宿泊料

令和5年7月13日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税込み)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	幹旋人数	宿泊代金
ホテルルートインいわき駅前 〒970-8026 福島県いわき市平4丁目22番3号 TEL: 0246-35-6101	シングル	20名	8,200円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。

※喫煙をご希望の場合は申込書にて喫煙希望を記載ください。記載がない場合は禁煙にてご用意します。

※定員を超えた場合は代替ホテルでのご案内になります。予めご了承ください。

【幹旋宿舎及び会場の案内図】



令和5年度 実地研修会（東日本大震災の復興と現状）に参加の皆様へ
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



（一社）全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年7月13日（木） 17:30 ~ 19:00（予定）

場所：調整中（いわき駅付近の飲食店を予定）

会費：2,000円（予定）
（受付時にお支払いいただきます）

- ※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、開催を中止とする場合があります。
- ※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。
- ※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。
- ※参加希望の方は、申込書の「交流会」欄に〇印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る
 - ①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換）
 - ②意見交換・情報交換
 2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
- ※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> （一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com